

「あっ、河川に油が浮いている！」

そんな時のために、水質事故対応講習会を開催しました。～大和川水環境協議会～

大和川水環境協議会の取組の一環として、令和2年12月11日(金)に水質事故に携わる各構成機関(府縣市町村)の職員を対象とした「水質事故対応講習会」を開催しました。約2時間の講習を行い、18名の参加者が水質事故の初動対応など理解を深めました。

概要

- 日時 : 令和2年12月11日(金) 10:00～12:00
- 会場 : 王寺町地域交流センター リーベルホール
- 参加人数 : 18名(協議会構成機関 国府縣市町村)
- 主催 : 大和川水環境協議会事務局 (大和川河川事務所)
- 内容
1. 令和2年度水質事故発生状況 (大和川河川事務所)
2. 事故や災害時における環境汚染とその対策
(講師:NPO法人自然エネルギー環境協会 小野氏)

環境汚染とその対策についての講義



講義

- 令和2年度水質事故発生状況
 - ・事故の種類別では油類によるものが全体の80%
 - ・事故原因としては、人為的ミスや機器トラブル、交通事故で50%以上を占める。
 - ・初期対応をしっかりと行い、被害拡散防止しよう！
- 事故や災害時における環境汚染とその対策
 - ・『初動対応』の方法
 - ・下流域拡散防止対策の基礎知識
 - ・下流域拡散防止対策の応用知識
 - ・油処理剤について(河川での使用禁止)
 - ・オイルフェンス等の設置に際するロープワーク



※新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して講習会を行いました。

- ・会場入り口で検温、アルコール消毒を実施
- ・マスク着用必須
- ・換気とソーシャルディスタンスを徹底



大和川水環境協議会とは

大和川水環境協議会は、国、大阪府、奈良県と流域の36市町村で構成され、水質異常の未然防止及び水質異常が発生したときの軽減、水環境の改善及び水質異常の防止のための住民等への意識の向上を図ることなどを目的として様々な取り組みを行っています。

参加者の感想

- ・初動対応の重要性を再確認できた。引き続き、被害の拡散防止のために現場対応に努めたい。
- ・本日の講義を理解し、今後もより分かりやすく関係者への説明を行っていく。
- ・油の種類により対応方法が異なるため、現場確認及び状況把握を今後もしっかり行いたい。
- ・現場を想定した実践的な訓練などもやってみたい。



【問い合わせ先】

大和川水環境協議会事務局

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 調査課

〒582-0009 大阪府柏原市大正2-10-8 TEL 072-971-1381